

2019 年度 授業計画(シラバス)

学 科	臨床工学技士学科		科 目 区 分	専門分野	授業の方法	講義演習
科 目 名	生体機能代行装置学 I		必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	60 (2) 時間(単位)
対 象 学 年	2年		学期及び曜時限	前期	教室名	402
担 当 教 員	小林 幸造・石飛 有基	実務経験と その関連資格	臨床経験15年(救急病院・クリニックで15年間透析業務を行った) 臨床工学技士免許			
《授業科目における学習内容》						
腎・泌尿器疾患をはじめとし、膠原病、自己免疫疾患から派生する腎不全症候群について学び、各疾患に応じた急性・慢性血液浄化法の概要を学ぶ。また、治療を要する患者の管理(保存療法、薬物療法、栄養管理等)についても学ぶ。						
《成績評価の方法と基準》						
出席点20%、定期試験点80%						
《使用教材(教科書)及び参考図書》						
・臨床工学講座 生体機能代行装置学 血液浄化療法装置 ・プリント						
《授業外における学習方法》						
毎回授業の最初に理解度確認諮問を実施するので、前回授業内容の復習をしておくこと						
《履修に当たっての留意点》						
出席することが一番大事なので成績の評価に出席点を入れています。						
授業の方法	内 容			使用教材	授業以外での準備学習 の具体的な内容	
第16回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	患者管理における糖尿病・高齢者について理解し、説明できるようになる	・AV機器 ・臨床工学講座 生体機能代行装置学 血液浄化療法装置	本日の授業内容の復習をしておくこと	
		各コマにおける授業予定	患者管理 ・糖尿病について ・高齢者について			
第17回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	患者管理における食事療法、薬物療法について理解し、説明できるようになる	・AV機器 ・臨床工学講座 生体機能代行装置学 血液浄化療法装置 ・プリント	本日の授業内容の復習をしておくこと	
		各コマにおける授業予定	理解度確認諮問 患者管理 ・食事療法 ・薬物療法			
第18回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	透析における水質管理について理解し、説明できるようになる	・AV機器 ・臨床工学講座 生体機能代行装置学 血液浄化療法装置	本日の授業内容の復習をしておくこと	
		各コマにおける授業予定	・透析液清浄化について ・エンドキシンについて ・細菌数測定について			
第19回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	透析における安全管理について理解し、説明できるようになる	・AV機器 ・臨床工学講座 生体機能代行装置学 血液浄化療法装置 ・プリント	本日の授業内容の復習をしておくこと	
		各コマにおける授業予定	理解度確認諮問 ・透析機器の保守点検 ・透析室の感染対策 ・透析中の事故と偶発症			
第20回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	持続的血液浄化療法について理解し、説明できるようになる	・AV機器 ・臨床工学講座 生体機能代行装置学 血液浄化療法装置	本日の授業内容の復習をしておくこと	
		各コマにおける授業予定	・持続的血液浄化療法の適応 ・持続的血液浄化療法の原理と性能 ・持続的血液浄化療法の治療条件			

授業の方法		内 容		使用教材	授業以外での準備学習 の具体的な内容
第21回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	持続的血液浄化療法について理解し、説明できるようになる	<ul style="list-style-type: none"> <li>・AV機器</li> <li>・臨床工学講座 生体機能代行装置学 血液浄化療法装置</li> <li>・プリント</li> </ul>	本日の授業内容の復習をしておくこと
		各コマにおける授業予定	理解度確認諮問 <ul style="list-style-type: none"> <li>・持続的血液浄化療法の種類</li> <li>・持続的血液浄化療法の特徴</li> <li>・持続的血液浄化装置について</li> </ul>		
第22回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	腹膜透析について理解し、説明できるようになる	<ul style="list-style-type: none"> <li>・AV機器</li> <li>・臨床工学講座 生体機能代行装置学 血液浄化療法装置</li> </ul>	本日の授業内容の復習をしておくこと
		各コマにおける授業予定	<ul style="list-style-type: none"> <li>・腹膜透析の歴史</li> <li>・腹膜透析の原理</li> <li>・腹膜透析の特徴</li> </ul>		
第23回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	腹膜透析について理解し、説明できるようになる	<ul style="list-style-type: none"> <li>・AV機器</li> <li>・臨床工学講座 生体機能代行装置学 血液浄化療法装置</li> <li>・プリント</li> </ul>	本日の授業内容の復習をしておくこと
		各コマにおける授業予定	理解度確認諮問 <ul style="list-style-type: none"> <li>・腹膜機能検査と効率</li> <li>・透析効率と透析量</li> </ul>		
第24回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	腹膜透析について理解し、説明できるようになる	<ul style="list-style-type: none"> <li>・AV機器</li> <li>・臨床工学講座 生体機能代行装置学 血液浄化療法装置</li> </ul>	本日の授業内容の復習をしておくこと
		各コマにおける授業予定	<ul style="list-style-type: none"> <li>・腹膜透析の治療モード</li> <li>・腹膜透析装置</li> </ul>		
第25回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	その他の血液浄化療法について理解し、説明できるようになる	<ul style="list-style-type: none"> <li>・AV機器</li> <li>・臨床工学講座 生体機能代行装置学 血液浄化療法装置</li> <li>・プリント</li> </ul>	本日の授業内容の復習をしておくこと
		各コマにおける授業予定	理解度確認諮問 <ul style="list-style-type: none"> <li>・血液吸着療法</li> <li>・血漿吸着療法</li> </ul>		
第26回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	その他の血液浄化療法について理解し、説明できるようになる	<ul style="list-style-type: none"> <li>・AV機器</li> <li>・臨床工学講座 生体機能代行装置学 血液浄化療法装置</li> </ul>	本日の授業内容の復習をしておくこと
		各コマにおける授業予定	<ul style="list-style-type: none"> <li>・単純血漿交換療法</li> <li>・二重濾過血漿交換療法</li> </ul>		
第27回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	諸外国の血液浄化療法について理解し、説明できるようになる	<ul style="list-style-type: none"> <li>・AV機器</li> <li>・臨床工学講座 生体機能代行装置学 血液浄化療法装置</li> <li>・プリント</li> </ul>	本日の授業内容の復習をしておくこと
		各コマにおける授業予定	理解度確認諮問 <ul style="list-style-type: none"> <li>・諸外国の血液浄化療法</li> <li>・ダイアライザリユース</li> <li>・社会保険制度と患者比率</li> </ul>		
第28回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	在宅血液透析について理解し、説明できるようになる	<ul style="list-style-type: none"> <li>・AV機器</li> <li>・臨床工学講座 生体機能代行装置学 血液浄化療法装置</li> </ul>	本日の授業内容の復習をしておくこと
		各コマにおける授業予定	<ul style="list-style-type: none"> <li>・HDDの利点と問題点</li> <li>・HDDの歴史と現状</li> <li>・HDDの導入、開始</li> <li>・HDDにおける臨床工学技士の役割</li> </ul>		
第29回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	腎移植について理解し、説明できるようになる	<ul style="list-style-type: none"> <li>・AV機器</li> <li>・臨床工学講座 生体機能代行装置学 血液浄化療法装置</li> <li>・プリント</li> </ul>	本日の授業内容の復習をしておくこと
		各コマにおける授業予定	理解度確認諮問 <ul style="list-style-type: none"> <li>・臓器移植とは</li> <li>・臓器移植とは</li> <li>・術後管理と合併症</li> </ul>		
第30回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	すべての重要な内容を理解し、説明できるようになる	プリント	
		各コマにおける授業予定	まとめ		